

駆け抜ける！走り大臣杯

5月26日、体育大会がありました。プログラムの2番には「駆け抜ける！走り（そうり）大臣杯」がありましたが、これは紅3人白3人計6人で走る50m走のことです。ぼくは一生懸命頑張っている（走っている）1から4年生の姿を撮りながら、僕が1～4年生の頃を思い出しました。

接戦の時は、とても苦しそうな顔が写真に写りそうでした。1年生は初めて



だったと思うけど一生懸命走っていたし、練習の成果か、とても静かに待っていました。2～4年生は昔（去年）やったことがあるので、1年生のお手本となっていました。スタートダッシュのときには、ほとんど同時だったものの、後から抜かす人もいました。その抜かした人は、家でも毎日走っている人だと思います。たとえ6番でも、お母さんたちには、「よく頑張ったね」と声掛けをしてもらった人が全員（100%）だと思います。なぜなら、練習のときに毎日一生懸命頑張っていた気持ちが、お父さん・お母さんにも十分伝わっていたと思うからです。左の写真には一位になって嬉しい気持ちが表情にあらわれているのがわかります。とてもいい笑顔ですね。僕もその

気持ちがよくわかります。一方の後ろの人は「2位になって悔しい」という気持ちですね。きっと「1位になりたい」という気持ちを持っていたのでしょう。僕も2年生くらいの時に最後に抜かれたことがありました。そのときは、本当に悔しくて、ずっとうつむいて終わるのを待っていました。きっとその人も同じ気持ちだったのでしょう。皆さんもこの気持ちはよく分かるはずですよ。なぜかという、目標を達成できなくて嬉しい人がいたら、ありえないことです。その目標を、達成するために僕たちは練習しているといっただけでしょう。1位に初めてなった達成感と、最下位になった悔しさ。そういう物語があるからこそ、「駆け抜ける！走り大臣杯」は成り立ちます。来年は、4年生はできないけど、1から3年生は頑張るって走るので、応援よろしくをお願いします。

※ この競技は1～4年生競技です。

